



村小だより

令和2年5月14日発行

今やるべきことを 両輪となって

校長 鈴木 正美

風薫る季節になりました。5月6日は本校の創立記念日、147年目を迎えています。

令和2年度初は、誰も経験したことのない見えない敵から身を守る生活が続いています。学校も子どもたちの「心身の健康・安全」を守ることに徹した臨時休業(～6日)、学校再開(7日～)後の分散登校等により、予定した活動が中止・延期・縮小等され、先が不確定な状況もあります。しかし、この間、子どもたちは大きく体調を崩すこともなく、学習・生活面等でやるべきことを真面目に取り組むことができたと思っています。また、教職員も子どもたちを迎えるために、授業準備や消毒作業はもちろんのこと、歩道や花壇・畑の草取りや畝づくり、ありったけのプランターに花の苗植え、校内掲示物の作製等、環境整備や活動準備を進めてきたところです。

このような状況の中、今後も「今やらなければならないこと、今やれないこと」等をしっかり見極め、見えない敵に正しく対応しつつ、子どもたちを守り、資質・能力を伸ばす教育活動の充実に努めて参ります。今年度の状況から、「家庭・地域と学校は車の両輪で」を例年以上に、よろしくお願い申し上げます。

＜令和2年度 村上小学校の教育の方針から(抜粋)＞ (※今年度はPTA総会、学校説明会は中止でした。)

- ◆ 「学び」の入門期である小学校が担う重要な役割は、「分かるって楽しい、できるようになって嬉しい」というように「学ぶ楽しさの実感」であると考えています。この気持ちが育まなければ、次の段階での「学ぶ意欲の向上」等につながらないと考えからです。
「学ぶ楽しさ」とは、表面的な面白さや楽しさではありません。何かを成し遂げた喜びがもたらしたものでなければなりません。そのために私たちは、発達段階に応じた課題に向かい、一人一人や集団で、精一杯の力を尽くして解決することを大切に授業を積み上げることが重要であると考え、日々の実践に努めます。
- ◆ 今年度のグランドデザインです。今年一年、村上市の教育の目標や村上小の教育目標の具現に向け、どのようなことを重点にし、どのような取組を大切にしていくか等の学校経営、学校運営の構想を示したものです。教育目標の自治三訣が意味する三つの力「自ら生きる力」「共に生きる力」「よりよく生きる力」の具現を目指し、知・徳・体ごとの重点達成を目指した具体的方策について、全職員の英知を結集して、教育活動の充実に努めます。
- ◆ 例年のように「子どもの前で学校批判、担任批判をしないほしい」をお願いいたします。子どもたちは、大好きな家族を頼りにしています。併せて、学校や担任のことも少なからず、頼りにしているものです。自分が頼りにしている双方が、もう一方を批判するのを見聞きすることは、「子どもの心を迷わすことにつながり、心が不安定な状態になる」ことが多いと言われています。私たち教職員も、子どもたちのために精一杯努めますが、いたらない点もあるかと思います。そのようなときには、是非、電話や面談等で、直接お考えを伝えてください。よろしくお願いいたします。

※グランドデザインは村上小のホームページでご覧いただけます。